

# 肱川

1958・10・20  
編集  
肱川村役場  
発行  
肱川村教育委員会

## 定例村議会

九月の定例村議会を十月六日招集、左記議案の審議原案通り決定した。

ついて  
大字中居谷 飛野 虎生

附議事件  
一、村長の専決処分事項の報告について

二、昭和三十三年度肱川村歳入歳出追加更正予算

三、肱川村民健康保険条例中一部改正について

四、肱川村教育委員会委員の選任に

### 国保・保険給付の改善

一、完全看護 給付  
療養給付範囲の内看護施設完備の病院に入院の場合「完全看護」が十月一日より給付実施となりました。

二、骨折脱臼による接骨師の施術

### 海外へ雄飛しよう

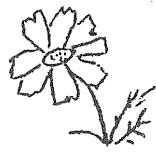
海外移住啓もう週間  
多大の効果をあげて終る。村は海外移住を促進するため、九月十九日から二十五日の一週間、本年四月南米各地の視察を終つて帰郷された県拓植課の篠崎技師を迎え、映画会、懇談会を村内各

費療養費払  
骨折脱臼により急を要し保険医に行く余裕のない場合接骨師に頼りし施術費の療養費払を十月一日より支給実施となりました。但し左記条件に該当のものに限ります。

一、療養担当医師の同意を要す  
二、政府管掌の健康保険との協定接骨師であること  
三、治療費代のみ入院費は含まず

## 昭和三十三年一般会計歳入歳出追加更正予算

歳入			
款	前回の予算額	追加更正予算額	予算現額
1 村税	12,247,000	753,100	13,000,000
4 分担金及び負担金	0	2,582,580	2,582,580
6 国庫支出金	4,290,000	1,332,500	1,761,500
7 県支出金	408,000	599,800	1,007,800
8 繰越金	800,000	3,700,000	4,500,000
10 寄附金	53,000	1,261,150	1,314,150
歳入合計	22,244,100	10,229,130	32,473,230
歳出			
3 警察消防費	587,700	559,400	1,147,100
4 土木費	1,303,240	2,879,000	4,182,240
5 教育費	5,738,505	40,900	5,779,405
6 社会及労働施設費	585,570	58,330	643,900
7 保健衛生費	567,600	2,890,000	8,566,000
8 産業経済費	2,417,900	5,276,600	7,694,500
10 統計調査費	12,000	3,300	15,300
11 公債費	1,442,000	1,000,000	2,442,000
13 選挙費	21,200	118,800	140,000
14 予備費	612,785	3,800	616,585
歳出合計	22,244,100	10,229,130	32,473,230



米のとり入れに多忙のことでしょう。全国的には豊作と言われているようですが、みなさんの場合はどうでしょうか。早稲作と言われますが、水利に恵まれぬ本村の場合、水不足の被害は思つたより大きいのではないかと、又秋ウシカもかなり猛威をふるつたようで心配しております。

さて、先にお願ひしました予約による買入指示書をお渡しします。集荷期限は、明年一月末日です。出来るだけ早の出荷して下さい。若し、予約後各種の被害で、予約した全量の出荷が出来ないと考えられる方は、指示のあつた日から二十日以内に係の方へ申し出て下さい。

調査の上、適否を決定いたします。

### 昭和三十三年 産米の集荷について

所て聞き、海外事情と移住事業について理解と協力を求めたが、その後次第に移住についての関心も高まり、移住希望者も出ておるが、この事業は「新しい村づくり」と表裏一体の重要な事業であることと理解をもち、出る者、残る者一体となつた協力がなければ、促進はむづかしく、特に移住者に対する理解と応援は必要で他人事として強い協力を係では望んでおる。

なお、年内に再度希望者や関係者を対象に懇談会を開き、相当数の移住を実現する一方、送り出す方の協力方法についても、具体的に決定し、本事業を強力におしよめることになつておる。

### 刈り上げ用酒の特配について

例年の通り、刈り上げ用酒類の特配が左記によりあります。

一、配給対象 米作農家全部  
二、酒類及量 清酒（二級）合成酒 しようちゆうの中どれかを一戸当り・ハリツトル（一升）  
三、価格（びん込）  
清酒 四二七円  
合成酒 三二九円  
焼酎 三一五円  
粕取 五〇〇円

四、部落長を通じ、一括して、酒類販売店へ申し込む

### 本日の出来事

- 一〇日 四国電力関係水利補償問題について懇談
- 一二日 中学校統合推進委員会を開く。
- 一三日 共同募金会を開く
- 一五日 沖繩出身故伊礼憲徳英霊伝達式が行われ、予子林上甲香枝宅に帰還
- 一七日 村議会建設委員会を開く
- 一九日より二十五日迄海外移住懇談会及映画会を開く
- 二〇日 部落常会
- 二二日 靖国神社参拝遺族一行帰村
- 二二日 観光特別委員会を開く
- 二七日よりシブテリア予防接種及乳児検診
- 二九日 肱川分校においてレントゲン検診
- 十月十日 松山市における農業祭見学 二三人参加

### 農事×E 麦の肥料設計

麦は作つても引き合わないと言いますが、食糧自給のためにはどうして止めることはできない作物です。米は地力麦は肥料といふことがあつたに、麦は肥料の効果が大きく、従つて非常に多く肥料は使われてい乍ら、案外無計画に施して多くの損失を出している様です。

作つても引き合わない様な安い作物であるからこそ合理的に施して効果を上げる様にして下さい。肥料設計の方法は九月に部落長さんにプリントを配つてありますから読んで下さい。わかり難い時は普及員に相談いたして下さい。各人ばらばらでなく部落で一纏めに研究しましょう。

- 四日 道路愛護デー 全村民 県道補修
- 六日 村議会
- 七日 中居谷 家畜品評会
- 八日 大谷家畜品評会
- 鹿野川家畜品評会

全国一斉に  
10月1日から  
お酒は  
リツトル販売に  
になります  
1.8リツトル=1升  
180ミリリツトル=1合

### 共同募金 運動について

十月一日から国民たすけあい共同募金運動が実施され、その期間中でありました。村民各位の御協力と理解によつて赤い羽根募金パツチ募金による実績があつており、皆様の御協力に対し感謝致しておる次第であります。本年度肱川村の目標額は八二、八〇〇円でありましたが、期間内に達成完遂するには、各世帯から戸別募金として五〇円以上のきよ出を願わなければ、目標額が達成しない実情であります。この国民たすけあい愛の運動期間中に目標額を完遂することとは、本運動に対する大きい意義のあることとありますので、本運動の趣旨を了解いただき、戸別募金きよ出方について格別の御協力をお願い致します。

### 台風二十二号による 水害義損金品の募集

先般東日本を襲つた台風二十二号による水害の地域は非常に広範囲にわたたり、その罹災状況は莫に同情に堪えないものがあります。被災の各都道府県においてそれ／＼万全の救護措置が講ぜられてはいるが、本年度台風十一号、十七号、二十一号により、近畿並びに北陸の地区の、概次く水害に伴う義損金品の募集を行うことになりましたから、右の趣旨御了承の上、同情ある義損金品のきよ出方をお願い致します。

一、義損金品の取扱期間及び送致先その他  
 義損品は十月二十八日まで  
 義損金については十一月十五日まで  
 二、送致先 日赤愛媛県支部を通じて被災地へ配分送付する。  
 三、村の取りまとめは、日赤肱川村分区分長（事務局へ届けて下さい）

### 全国和牛共進会を視て

十月九日午後、全国共進会場である名古屋に向つて出発する。瀬戸内海的美景も夜とあつて意味がない。十日朝大阪着、近鉄急行電車は大坂平野をつつ走りながら、木曾川を越えりと名古屋である。夕方目的の中京競馬場に着く。  
 十一日 晴 午前十時より高松宮を迎えて開会式次いで宮の御巡視。生産牛八九種牛二一肉牛六〇 無角牛 赤牛等で二四 合計一八四頭が出品される。卒直に言つて優秀牛の集りだけに、自分の眼では等級をつけることは出来ない。唯県対の比較を自分なりに言いますと次の通りです。  
 種牛は平均して島根、取島、岡山のもの、肉牛は三重、山口が特に目だつて良いと思つた。生産牛はいずれとも差がつけがたい仕末、ちなみにある人に種牛の価格を聞いて見ると、九拾万円なら売るといつていました。又肥育について聞くと、人間の子供を育てる以上の世話をするとのこと、我々には出品牛の様なことは出来ませんが飼育の技術について考えなおす必要があるようです。そうして農業経営の柱として、畜産全般の振興

### 人口動態

出生	三三・九・三十日現在
肱川	栄金野弘一
共栄	小山明美
下大和	佐藤早苗
上鹿野川	成登寛
中央敷水	西田加久美
瓜生谷	堀川広美
月野尾	富永つきこ
山榎	山本鈴子
共栄	竹本佳子
下嵯峨谷	高井加志子
影地	岩田久美子
下鹿野川	榑本恭太
死亡	河内里加
中津宮	岡ヨシ
上森山	宮本猪之吉
久保	安部隆繁
下嵯峨谷	大見嘉次
中津	二宮アサヨ
嘉城	二宮シカ
柳	宮崎フジエ
人口	計七、八九三
男	四、〇九四
女	三、七九九
世帯数	一、四九九

### 県森連木材市売場相場 肱川土場価格次の通り

（一寸当り）	長サ	末口	スギ	ヒノキ	マツ
一三尺二寸	二〇下	三四・一一錢	三四・七六錢	三四・七六	
"	二五上	三二・一六	三四・七六	三四・七六	
"	三五上	三四・一一	三四・七六	三四・七六	
"	五〇上	二八・九二	三四・一一	三四・一一	
"	六〇上	三一・五〇	四二・五三	四二・五三	
"	一〇〇上	三二・四二	二七・六五	二六・三四	
一〇尺	三〇下	二四・三九	三一・九一	三一・九一	
"	三五上	二九・三一	三三・四五	三三・四五	
六・六	二五下	一〇・一四	二〇・五〇	二〇・五〇	
〃	三〇上	一一・四四	二四・三九	二四・三九	
〃	六〇上	一七・九一	三四・七六	三四・七六	
二〇尺	五〇上	三六・一〇	四〇・〇〇	四〇・〇〇	

### 推奨の栽培と管理

空梅雨の続いた後七月に慈雨が降り、八月、九月も順調な降雨があつたが、乾燥のため菌糸の成長は一時ストップしていたのでその成育は非常に悪い。  
 特に種菌植付時期の遅い四月、五月に植付したものは、早植したものに比較して菌糸伸長に顕著な遅れを見せている。特に雑菌の多いのは、昨年植菌した槽で菌糸伸長成績の悪いものに多くついている。人口栽培と言つても伐採の時期と菌の植付の時期により、大いに収穫に差を生じる。今年の場合其の例で今後は必ず種菌植付の時期を失しないよう早目に植えること、原木の伐採は葉が紅葉した時期に元切りし、一カ月そのまゝ水引

### 護国神社 御賽銭の御礼

例年の通り御賽銭を御供えいたゞきまして有難うございました。厚く御礼申し上げます。同時に献納金額を報告いたします。  
 献金額 五、七九一円也

富友柿の色も野菊の色も空の碧さもすつかり秋になつて、農家にとつて忙しい収穫の時期となつた。その忙しさの間に、あちらこちらで祭礼でにぎわい、呼んだり呼ばれたりしてお客の行き交う姿も多くなる。農繁期と言えは労働、栄養と云つたことが気になるが、時々のお祭に栄養を補給？と言ふこともあるだろう。しかし、派手なお祭をして、ヘドをはくまで飲食することを止めてその経費を少しでも、一番重労働をし、又一番栄養を必要とする農繁期に廻す工夫をするのが新生活だと思ふし、近代人のたしなみだと思ふ。一戸平均お祭に三千元（とてもこんな金額ではすまなけれど）使うとしても千戸で三百万円使うことになる。せめて三千元の半分でも、農繁期のためにとつておきたら忙しい為、後遺しになり粗食で重労働をするので身体に無理が生じ生命を縮めることになる。お祭も大事だが、限度を守つて行わるべきだと思ふ。